

## 旬の味をお届け

### ～安八町赤十字奉仕団～

5月11日(月)安八町赤十字奉仕団(梶井和子委員長)の皆さんが、結保育園へ獲れたてのイチゴを届けました。

同奉仕団は、バザーなどの収益金を各種団体へ寄附をしたり、愛の一声運動としてひとり暮らし高齢者へ贈り物をしたりとボランティア活動を行っています。

今回は、日頃活動しているバザーなどの収益金で獲れたてのイチゴを用意し、146人の園児一人ひとりに「おいしい?」「いくつになったの?」と笑顔で優しく声をかけながら振る舞いました。

梶井委員長は「子どもたちは安八町の宝ですので、これからも温かく見守っていきたいと思います。」と優しい表情で話されました。



▲ 真っ赤な甘いイチゴをいただきます

## 高いところも仲良く収穫

### ～さくらんぼ集会・名森小学校～

5月8日(金)名森小学校の校庭に真っ赤に実るサクランボの収穫を1年生児童(80人)と6年生児童(83人)が協力しながら行いました。

高いところまで手が届くように6年生が1年生をおんぶして、互いに交流しながら仲良く収穫を楽しみました。1年生は、6年生のお兄さんやお姉さんの大きな背中の上で満面の笑みを浮かべながらサクランボに手を伸ばしていました。

収穫したサクランボは、給食の時間に全校児童でおいしくいただきました。

このサクランボの木は、「実のなる木」として子どもたちに植物の成長過程や収穫の楽しさを学んでもらうために植栽されたもので、毎年子どもたちの手で収穫しています。



▲ お兄さんのおかげで高いところまでラクラク手が届くよ

## 甘いイチゴで交流を

### ～イチゴ交流会・牧小学校～

5月11日(月)牧小学校の学校農園で1年生児童(24人)と2年生(15人)が、あすわ苑のお年寄りを招いて、牧長寿会の皆さんの指導のもとイチゴを収穫しながら交流をしました。

子どもたちは、真っ赤に色づいたイチゴを収穫すると、あすわ苑のお年寄りに自己紹介をしたり「お元気ですか?」「真っ赤なイチゴをどうぞ。」などと優しい言葉を添えてイチゴを手渡し、一緒に味わいました。

この交流会は、子どもたちが相手を思いやり、誰に対しても優しく接することができるよう、毎年行われています。



▲ お元気ですか?一緒にイチゴを食べましょう!